



2011年 第4号 発行日2011.11.1

医療法人ウイング 高城病院

# ウイングICT新聞

## 「医療従事者とワクチン接種」

医療従事者にワクチン接種が勧められる理由・・・

医療従事者の**健康保持** 医療従事者から周囲の**患者への感染防止**である。

インフルエンザワクチン・・・医療従事者は**ハイリスク者〔患者〕**に伝播する者として**毎年ワクチンを接種**します。ワクチン接種により、**高齢者、長期入院患者、入所者の死亡率が抑制**されたという報告があります。

インフルエンザ感染の多くは、**飛沫感染**といって、感染者のくしゃみや咳によって、インフルエンザウィルスを含んだ気道分泌物の小粒子が周囲に飛び散ります。この小粒子を飛沫といい、その数は、**1回のくしゃみで約200万個、咳で約10万個**といわれます。粒子は比較的大きいのですが、感染者からおおよそ**1～1.5m**の距離であれば、直接周囲の人の呼吸器に侵入してウィルスの感染が起こります。

『**患者 医療従事者 患者**』という経路をたどる事は十分考えられます。

病院内は、面会者や外来患者も多く、細菌・ウィルスを外部から持ち込んでいる可能性は十分あります。また、**エレベーターの階のボタンやドアノブ**など、不特定多数の人間が利用するものからの感染するという可能性も大いにあります。

インフルエンザワクチンは、重症化や死亡の防止に一定の効果が期待されますが、感染を**100%防**げるわけではありません。

**接種の目的は 死亡者や重症者の発生をできる限り防ぐ。**

そのために必要な医療を確保する。

〔**医療従事者が感染して医療が停止することを防ぐ。**〕

以上のことを念頭に置き、医療従事者、病院内のスタッフ**一人ひとりが意識**し、業務に当たることが大切であると思います。

当院ではマスターキーを使用しています。業務中、常に使用する物であり、

マスターキーにも菌が繁殖しています。**業務終了時**、手洗いをしましょう。